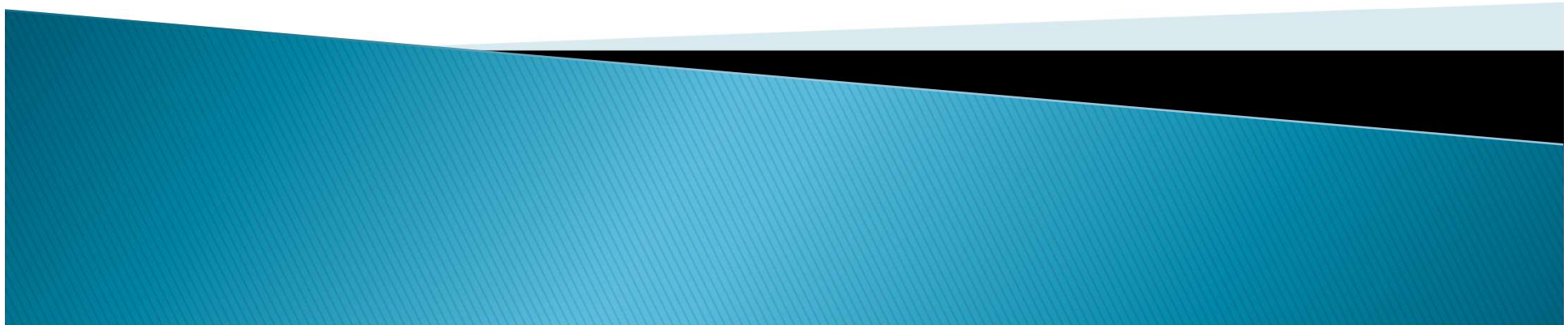
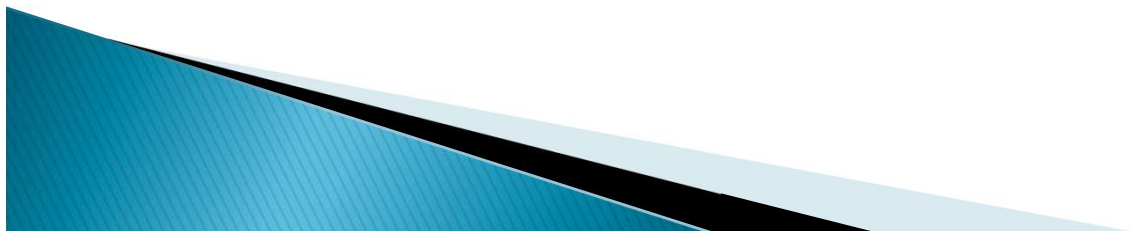


地域活動体験学習実施報告

第41期生 園芸 A
大崎 恭義



- 体験先 : 守山ボランティアの会 G・A・G 代表 石田耕一
(俗称:Golden・Age・Group)
- 体験日 : 平成31年3月25日(月) 9時から11時
- 体験分野 : 環境保全
- 活動場所 : 社会福祉法人「蛍の里」
- 参加人員 : 10名



体験内容の報告

☆玄関近くの花壇清掃(草取り)

第1回目のボランティア活動なので、朝の集合ミーティングでメンバーの皆さんに紹介して頂く。

用具の草刈り用の小型の鎌、ほうき、塵取り等は準備いただいた。

☆建屋の西側道路沿いの垣根の剪定

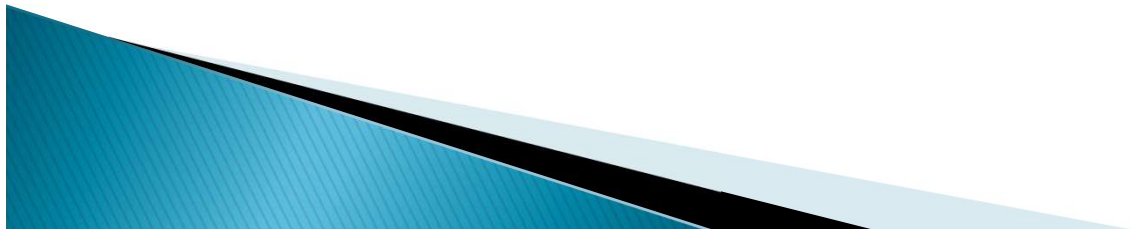
剪定道具(両手バサミ、剪定バサミ、)



体験の成果

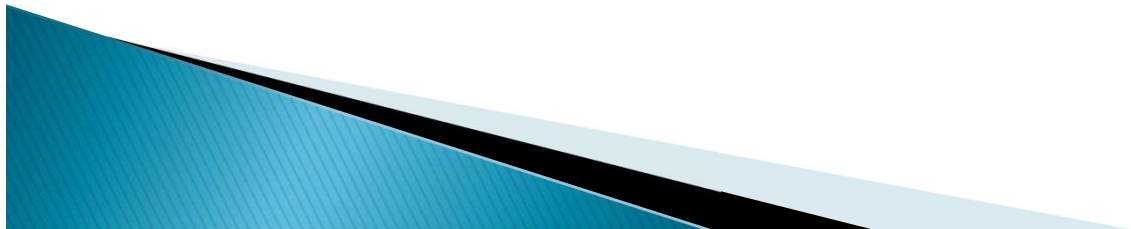
- ▶ **グループ及び施設の方々と活動を通じて交流が図れ、地域活動体験学習ではあるが暖かく迎えていただき、僅かな活動時間ではあったが、地域に貢献できたことが良かったと思う。**

また、少しだけではあるが、生垣の剪定もさせていただき、授業で得たほんの少しの知識を参考に指導頂いた内容が実践で確認できたこと。



反省点

- ▶ 事前に作業内容をもう少し確認しておくことで、必要な道具を準備できたのではないかと思う。



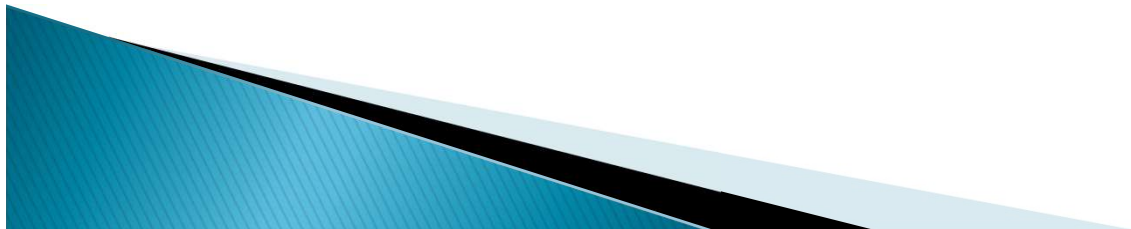
今後の課題

- ▶ 剪定作業においては、もっと知識を習得し選定作業がスムーズに行えるよう、色々な場所で時間をかけて活動ができると良いのであるが、剪定は他の業者との関わりもあって、ボランティア活動としては、その辺の兼ね合いが難しいとの事。



所 感

- ▶ ボランティアは初めての経験であったが、グループメンバーにはレイ大OBの方が多く在籍されており、親切に指導をしていただき、大変感謝をしています。
グループの活動理念である心の豊かさを求めて、隙間を埋める活動を仲間とともに実践されているのが、素晴らしいと思いました。



今回の垣根の剪定で学んだこと。

- このような垣根は、10年位の年月が必要。今の垣根は植えてから5～6年位経過。
- 垣根の前面を揃える、又、高さは適切な高さに揃えることが大事。
- 垣根の高さは手前から後ろへ、順次高くするように。
- 切る位置は、外芽の上で切る。
- 交差枝は切る。
- 突き出た枝単独で放置せずに、隣との関係で目立たない位置で切る。
- 周り全体を見て混んでいる箇所を、透かし剪定する。
- 両手バサミの使い方、左手側は固定して右手側を動かして切ると良い。



活動風景



蛍の里玄関



玄関横の花壇



道路西側の垣根剪定前



道路西側の垣根剪定後



道路南側



当日の参加者

○体験先 : 守山ボランティアの会 G・A・G 代表 石田耕一
(俗称:Golden・Age・Group)

○体験日 : 平成31年4月16日(火) 8時30分から11時30分

○体験分野 : 環境保全

○活動場所 : 大庄屋諏訪屋敷

○参加人員 : 15名



体験内容の報告

☆準備体操

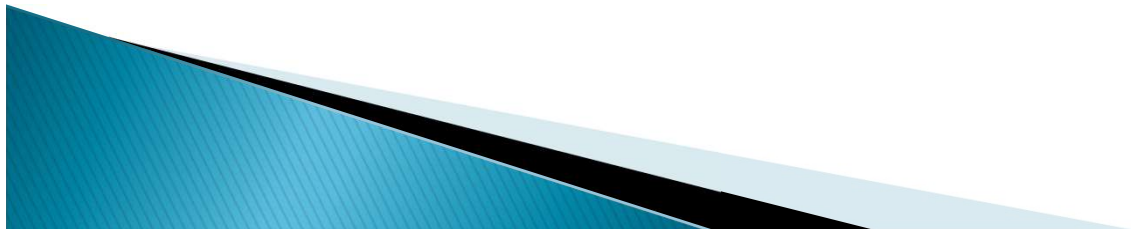
朝の集合ミーティングでメンバーの皆さんに紹介して頂く。

☆剪定作業の説明

庭園の見学を兼ねて、本日举行う作業を説明頂く。

☆庭木の剪定

剪定道具(剪定バサミ、ノコギリ)、高所への対応可能な脚立。

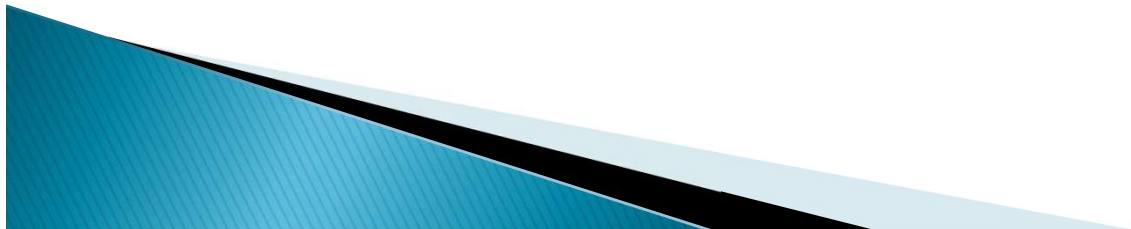


体験の成果

本日の作業は、4月10日の予定が雨天により延期となったもので、定期活動として毎月実施されている市文化財の大庄屋諏訪屋敷での庭木の剪定作業を経験豊かな先輩の指導の下、二人一組で行った。

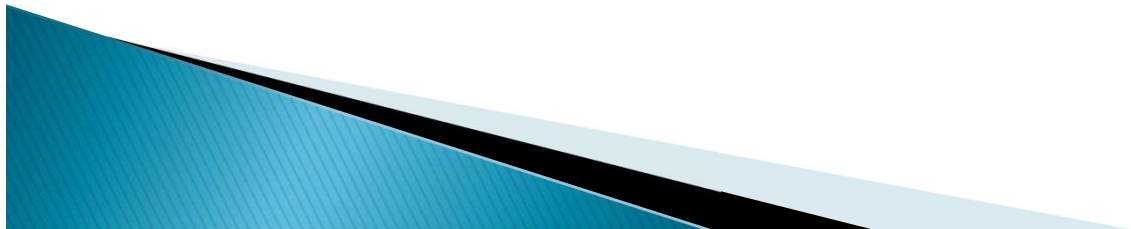
そのため、細かいところまで指導頂き、充実した時間であった。この諏訪屋敷は、苔が立派であり猫の糞対策として、苔の回りに透明の糸が張り巡らせてあり、その糸を切らないように作業をしなければならないが、作業に夢中になると糸のことを忘れ、引っかけてしまう等施設管理者に迷惑を掛けた。

私の担当は、レイカディア27期生の清水様。



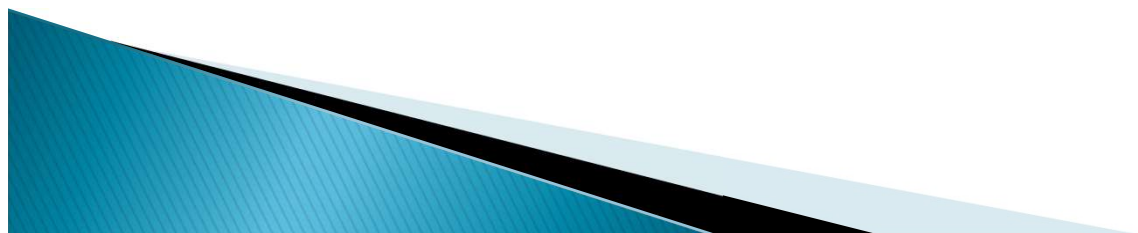
反省点

前回の反省を踏まえ、道具等は準備できたので作業には支障はなかったが、苔の保護をしている糸を不注意で切断したことは、大変迷惑となったことと思う。



今後の課題

この施設は、入場料を取って拝観されるため、研修生のような立場の者が作業に参画させていただくのは、大変申し訳なく思います。もう少し経験を積んで作業に参画できれば良いのではないかとともに思います。



所 感

ボランティア活動は、二度目の参加ですが今回も地域活動体験学習として暖かく迎えて頂いただき、レイ大の先輩も多くおられ、雰囲気も大変打ち解けやすい環境でした。毎月の活動でもあり、要領が良く出来ることがスムーズに進み、予定通り終了出来た。



今回の剪定で学んだこと。

- 全体的に見て混み入っている箇所を透かす。
- 徒長枝(上向き)、交差枝、内向き枝は切る。
- 細かい枝は手で摘みとる。葉は千鳥に残す。
- 主枝、亜主枝を見定め、バランスをとるように。
- ひこばえは根元から切る。
- 脚立はしっかりと据えて、固定をする。





大庄屋諏訪家屋敷



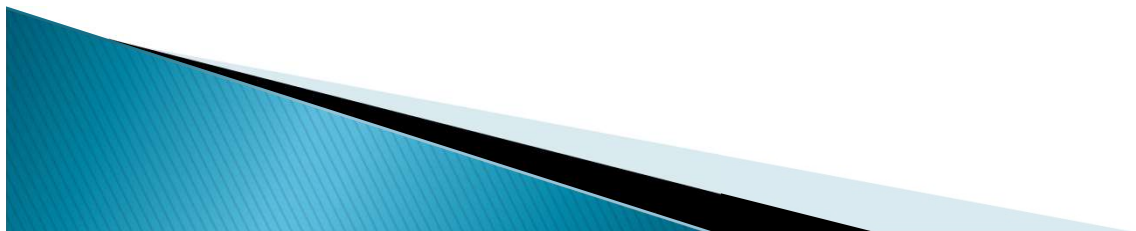
開始前ミーティング



準備 体操



道具の確認





作業前の説明



指導者の清水様



当日の参加者